



信州大学人文学部
リベラルアーツ研修／教育 パイロット版第2弾

2020年2月10日(月) 9:30~17:00

【会場】信州大学人文学部 311 演習室

講師 **伊藤 盡 教授 (英語学)**
三谷 尚澄 准教授 (哲学)

- (1) 『ロード・オブ・ザ・リング』がつなぐ世界——
実在した異世界ファンタジー：トールキンと21世紀について考える
- (2) いま、日本の地方で哲学すること 『文系の学問』は本当に世の中の役に立つのか

日常と「非日常」をつなぐ

知って 語って
議論して

「あたたかい知識」を
共有する

おもしろき
こともなき世をおもしろく
するために。

【問い合わせ先・申込先】

長野県松本市旭 3-1-1
信州大学人文学部 総務係
TEL 0263-37-2234

LArtsjinbun@shinshu-u.ac.jp

主催) 信州大学人文学部

後援) 松本市

信州大学部局推進プロジェクト 2019

※参加される場合は費用がかかります。
詳細はお問い合わせください。

研修当日の流れ（予定）

2020年2月10日（月）

午前 9:30 から午前 10:00	登録とアイスブレイク
午前 10:10 から午後 12:00 まで	『ロード・オブ・ザ・リング』がつなぐ世界Ⅰ（仮）（伊藤）
午後 13:00 から午後 14:30 まで	『ロード・オブ・ザ・リング』がつなぐ世界Ⅱ（仮）（伊藤）
午後 14:30 から午後 14:40 まで	休憩
午後 14:40 から午後 15:40 まで	いま、日本の地方で哲学することⅠ（三谷）
午後 15:40 から午後 15:50 まで	休憩
午後 15:50 から午後 17:00 まで	いま、日本の地方で哲学することⅡ（三谷）

講師陣



伊藤 盡 教授

映画『ロード・オブ・ザ・リング』日本語吹き替え版エルフ語監修、映画『ホビット』翻訳監修。古英語、エルフ語、北欧神話などを専門としながら、歴史、文学、芸術など多方面に深い造詣を持つ。



三谷尚澄 准教授

『哲学してもいいですか？』（ナカニシヤ出版、2017年）、『若者のための〈死〉の倫理学』（ナカニシヤ出版、2013年）などの論考を次々に発表。強靱な思考力で現代という時代と《生》をめぐる問いに挑む。

人文学部リベラルアーツ研修／教育プロジェクトとは

現在、首都圏を中心に、企業によるリベラルアーツ研修が盛況となっています。その背景には、

①グローバル化、②人間力の醸成、③「新しい価値」（イノベーション）の創出へのニーズの高まりがあります。

中・長期的な観点から、企業／人の「力」を引き出す可能性をもつリベラルアーツ研修／教育の提供を、信州大学人文学部は目指しています。本プロジェクトに参画するメリットは大きく二点です。

- （1）チーム学習を通じて「生きたシステム」としての知識・新たな視点を獲得することで個人の総合力を高め、仕事への波及効果を期待できること。
- （2）研修という「場」を通して、異業種間の相互ネットワーク構築が可能になること。

2018年度にはパイロット版第1弾を実施し、3社（9名）のご協力をいただき、飯岡詩朗准教授（アメリカ映画史・映像文化）を講師として、映画『クレイマー・クレイマー』などを題材に、映画における表現を学びました。